

 この広報誌は、共同募金の助成金を活用し発行しております。

第2号

平成30年8月



耳より info



平成30年5月の大雨災害により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

5月18日の大雨により、秋田市では、下新城、金足、大住を中心に、床上浸水146棟、床下浸水232棟の被害が発生しました。

秋田市社会福祉協議会では、5月21日に災害ボランティアセンターを設置し、これまで115件の依頼に対し、延べ327人のボランティアの皆さまの協力をいただきながら、畳・家具の運び出しや泥・土砂・流木等の片づけ、床下消毒などを中心に被災者への支援活動を行ってまいりました。被災者の方々からはたくさんの感謝のお言葉をいただきました。市民の方々が一日も早く元どおりの生活を送ることができるよう、これからも支援してまいります。

ホームページでも
ご覧になれます

秋田市社協

検索

編集発行／社会福祉法人 **秋田市社会福祉協議会**
〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8-2
(☎) 862-7445 (FAX) 863-6068

高齢者生活支援体制整備事業ってな～に？

地域の高齢化が進む中、従来のホームヘルプやデイサービスなどの専門職サービスだけでなく、ちょっとした地域住民の困りごとなどの支援体制を地域の中に創ることが必要になってきます。また、**自分らしく地域で暮らし続ける**ためには、地域に住む方たちが社会参加を通じ生活することが大切です。地域において、役割を担うことは自分自身の介護予防にもつながります。

地域の誰もが参加できる、身近な場所での「体操教室」や「サロン」など、それぞれの**地域の特性にあった支え合いサービス**や、地域をよく知る住民のみなさん、専門職の方、関連機関が連携して**お互いを支え合う仕組み**を考え、創りあげる事業です。

また、この事業では**生活支援コーディネーター**と共に地域のみなさんと話し合いの場、**協議体**を地域に設け推進していきます。

生活支援コーディネーターってどんな人？

高齢者を中心に、誰もが住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるように支え合いのある地域づくりを進める活動을します。

例えば...

- 地域での生活上の課題を把握し、地域の人と一緒に考え、解決に向けた取り組み、支え合い活動を推進します。また、地域資源の把握と関係者・機関などのネットワークづくりやサービス・支援の担い手発掘、養成を行います。

支え合いが広がる
地域づくりを
サポートします！



協議体とは？

地域住民のみなさまの支え合い活動を展開するための話し合いの場であり、活動を推進します。生活支援コーディネーターを組織的に補い助ける役割を担います。

参加は地域住民をはじめ、行政、医療関係者、地区社協、民生委員、一般企業、学生等で、広い範囲での支え合い活動の活性化を図ります。

